

令和7年度 児童発達支援センター天使園 安全計画

・避難訓練は、避難及び消火訓練を毎月行わなければならない。（児童福祉施設の設備及び運営基準）
 ・消火訓練及び避難訓練を年2回以上実施すること。（消防法施行規則第三条第10項）
 ・消火訓練及び避難訓練を実施する場合には、あらかじめその旨を消防機関に通報しなければならない。（消防法施行規則第三条第11項）

目標		子どもの生命の保持と健やかな生活の基本を保障し、自ら安全な生活を作り出す力を養う。													
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
ねらい	園内外での安全な生活の仕方を知る	新しい生活	不審者	交通安全	夏の生活	夏の生活	交通安全	秋の生活	交通安全	不審者	冬の生活	冬の生活	不審者		
		指導内容	・園児自身が保育所の生活における安全や危険を認識できるよう指導する。 ・地域の関係機関と連携し、交通安全について学ぶ機会を設ける。 ・事故発生時の約束事や行動の仕方について理解できるようにする。	・雨の日の安全について知る。 ・水遊び時の注意を知る。	・気温が高い時は外遊びをしないことを知る。 ・熱中症対策、水分補給や帽子の着用の大切さを知る。	・横断歩道の渡り方や信号の見方を知る。 ・集団で歩くときの約束を知る。	・公共の場所の使い方やマナーを知る。 ・知らない人についていけないなど、危険なことから身を守る大切さを知る。	・公共交通機関について学ぶ。 ・災害発生時の約束事や行動の仕方について理解できるようにする。	・公共の場所の使い方やマナーを知る。 ・知らない人についていけないなど、危険なことから身を守る大切さを知る。	・公共の場所の使い方やマナーを知る。 ・知らない人についていけないなど、危険なことから身を守る大切さを知る。	・公共の場所の使い方やマナーを知る。 ・知らない人についていけないなど、危険なことから身を守る大切さを知る。	・公共の場所の使い方やマナーを知る。 ・知らない人についていけないなど、危険なことから身を守る大切さを知る。	・公共の場所の使い方やマナーを知る。 ・知らない人についていけないなど、危険なことから身を守る大切さを知る。	・公共の場所の使い方やマナーを知る。 ・知らない人についていけないなど、危険なことから身を守る大切さを知る。	・公共の場所の使い方やマナーを知る。 ・知らない人についていけないなど、危険なことから身を守る大切さを知る。
		適宜実施	・場面ごと（園外保育等を含む）の複数での人数確認 ・保護者に安全計画の取り組みの説明・共有（入園時） ・人権擁護のためのセルフチェックリストにて関わり方に対する振り返り	・安全確保に即して施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策の講じる	・安全確保に即して施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策の講じる	・安全確保に即して施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策の講じる	・安全確保に即して施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策の講じる	・安全確保に即して施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策の講じる	・安全確保に即して施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策の講じる	・安全確保に即して施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策の講じる	・安全確保に即して施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策の講じる	・安全確保に即して施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策の講じる	・安全確保に即して施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策の講じる	・安全確保に即して施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策の講じる	・安全確保に即して施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策の講じる
毎実施	・安全確保に即して施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策の講じる	・安全確保に即して施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策の講じる	・安全確保に即して施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策の講じる	・安全確保に即して施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策の講じる	・安全確保に即して施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策の講じる	・安全確保に即して施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策の講じる	・安全確保に即して施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策の講じる	・安全確保に即して施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策の講じる	・安全確保に即して施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策の講じる	・安全確保に即して施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策の講じる	・安全確保に即して施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策の講じる	・安全確保に即して施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策の講じる	・安全確保に即して施設内外の安全確認 ・ヒヤリハットの収集・分析の共有及び対策の講じる		
管理・点検	・一人ひとりの発達状況を把握しながら、安全に過ごせる環境を整える。 ・毎日の出席・欠席・遅刻・早退児を必ず把握し、職員間で確認する。 ・交通安全協会、警察との連携 ・登降園時の送迎に関するお知らせ（駐車、門の施設、飛び出し注意など）	・熱中症予防と対応について職員間で研修 ・雨の日の湿度管理、水による転倒等事故予防 ・プールの安全点検、水温、塩素濃度の測定及び記録 ・職員の衛生管理・水の事故防止の研修・プールの清掃、水遊びの遊具、用具の安全点検 ・保育士同士で危険な行動に対する共通理解、指導の徹底	・戸外での遊び、遊びの場所、遊びの動線への配慮 ・園外保育を利用し、信号機の見方、道路の歩き方等の体験的な指導 ・保育室での子どもの動線考えた安全な遊び場の工夫 ・感染症対策（生活リズム・手洗いうがい・気温や活動に応じた服装） ・備品の点検、修理依頼	・ヒヤリハットのみとめ（年間）と検証 ・積雪時の送迎の安全確認 ・年末年始の家庭での安全な過ごし方のお知らせ ・晴くなってからの降園の安全周知											
危険管理	保育士の対応力を身につける	重大事故	アレルギー	水の事故と熱中症	感染症	異物混入	けいれん	重大事故	感染症	誤嚥	感染症	アレルギー	重大事故		
		・子どもの意識がなくなった時の対応 ・心肺蘇生の仕方	・アナフィラキシーショックを起こした時の対応	・水でおぼれた時の対応 ・熱中症を発症した時の対応	・嘔吐下痢の処理の仕方	・給食に異物が入っている時の対応	・けいれんを起こした時の対応	・子どもの意識がなくなった時の対応 ・AEDの使い方の訓練	・子どもの意識がなくなった時の対応 ・AEDの使い方の訓練	・インフルエンザや新型コロナウイルスなど感染症が流行したときの対応	・子どもの意識がなくなった時の対応	・ノロウイルス発生時の対応	・エビベンが必要となった時の対応	・子どもの意識がなくなった時の対応	
管理・点検	・重大事故の対応時の役割分担表の作成・周知 ・睡眠チェック表の書き方の統一（年齢に応じた間隔にて実施） ・AEDのバットの使用期限の点検・使い方の周知 ・園外時、置き忘れ防止訓練。	・マニュアルの読み合わせ ・緊急時の対応について確認 ・時系列の記録の重要性 ・アレルギー児の再確認	・水あそびをする時の注意事項及び事故発生時の対応の周知・徹底 ・輻射熱等による熱中症との対応方法の周知・徹底	・嘔吐下痢の確実な処理の仕方への周知・徹底 ・感染拡大防止のための行動	・異物混入時対応マニュアルの内容確認と検討修正	・けいれん対応マニュアルの周知・徹底 ・けいれん発作のある子の再確認 ・坐薬等の確認	・心肺蘇生とAEDの使い方の周知 ・AEDのバットの使用期限の点検 ・園外時、置き忘れ防止訓練。	・感染症が集団発生した時の対応方法の周知 ・重大事故になった場合、国の報告書での研修	・重大事故の対応マニュアルの確認 ・重大事故になった場合、国の報告書での研修	・食中毒発生時の対応の周知 ・保育室での対応の確認	・アナフィラキシーショックの対応マニュアルの確認 ・アレルギー児の再確認 ・預かりエビベンの確認	・役割分担表での動きの確認 ・AEDのバットの使用期限の確認・点検、使い方の確認徹底 ・一年間を振り返って、園内事故発生状況と安全措置に関する研修			
非常災害	災害のことを知り命を守る行動をとる	火災	内水氾濫・火災	地震・火災	火災	風水害	地震・火災	火災	風水害	地震・火災	火災	火災	地震・火災・津波		
		○避難（防災）訓練の意味、必要性、保育者など大人の指示に従う。 ○避難訓練の仕方 ・避難訓練の合同（サイン）・放送・緊急地震速報等） ○避難時に各個人カードを身に付ける。 ■人数確認する。	○保育者の指示に従い、落ち着いて避難する。 ■慌てずに状況に応じた避難経路を想定する。 ■人数確認する。	○地震の時の避難の仕方 ・頭を守る ・机の下に潜り、脚を持つ。 ・避難の際は防災頭巾を被り、各個人カードを身に付け、靴を履く。 ■人数確認する。	○非常ベルが鳴ったら保育者のところに集まり速く避難場所から遠くに逃げる。 ■人数確認する。	○垂直避難することを知り、第2避難場所に避難する。 ■人数確認する。 ■4事業所による合同避難訓練（第2避難場所への避難） ・避難先での保育者間の情報共有・動きの確認	○大地震が起きた時の避難の仕方 ・建物の倒壊の可能性を考えた避難経路 ・地震と火災の同時発生 ■人数確認する。	○引き渡し訓練にて、迎えに来た方が誰なのかを言える。 ■放送機能が不能の場合、どのように園全体に伝達するかを想定する。 ■連絡が取れない子どもの対応 ■保護者連絡と引き渡し ■人数確認する。	○ケリラ豪雨・内水・外水氾濫・土砂災害などの自然災害の時の安全な避難の仕方を知る。 ■人数確認する。	○シェイクアウトえひめに参加する。 ・普段と違うアナウンス放送に従い避難する。 ■人数確認する。	○避難の仕方に慣れ、落ち着いて避難する。 ■煙の充満への対応確認 ・避難経路の確認 ■人数確認する。	○非常ベルが鳴ったら保育者のところに集まる。 ■人数確認する。 ■保育者により通報訓練	○大きな揺れが続いているときの自身の身の守り方。 ○大地震から火災・津波想定で、4事業所ともに第2避難場所まで避難する。 ■人数確認する。 ■年間を通してのまとめ、注意点の再確認。		
管理・点検	・園舎点検 ・防災頭巾の数と使用方法の確認 ・消火器・警報機の確認 ・避難経路・防災設備の確認 ・非常持ち出し袋の中身の確認・補充・入れ替え	・緊急連絡簿確認 ・119番通報の仕方の確認 ・緊急時の連絡手段になる、れんらくアプリの送信受信確認 ・非常持ち出し袋の中身の確認・補充・入れ替え	・防災の備品の確認 ・備蓄食品の消費期限・数の確認・入れ替え・補充	・災害時の役割分担の確認 ・避難経路・防災設備の点検と確認 ・消防職員による指導・確認・施設内の点検	・内水氾濫・外水氾濫の現状把握 ・園の周りの危険な物の確認 ・合同避難にて各部署の情報共有	・消火器・警報機の確認 ・警報機誤作動時の対応を確認 ・消火器の使い方	・災害後の情報収集の仕方 ・備蓄食品の確認 ・引き渡し訓練表の確認（緊急連絡先について） ・引き渡し訓練後の問題検討 ・避難場所での動き	・内水氾濫、外水氾濫の現状把握 ・土砂災害の情報把握 ・園の周りに危険なものがなければ確認	・物が散乱している場合の避難の仕方の検討 ・避難車が使えない場合の安全な避難の仕方について	・保育者の人数が少ない時の役割分担の確認	・消防職員による指導・確認 ・119番通報の仕方の確認	・大地震により保護者が迎えに来れない場合に、園で留泊を伴う避難を想定して動きを確認 ・次年度の内容確認 ・Macメールの確認（年度末の整理）			
指導内容	・災害や事故発生時の約束事や行動の仕方について理解できるようにする。														
管理・点検	消火訓練 不審者対応訓練	消火訓練 不審者対応訓練	消火訓練 不審者対応訓練	消火訓練 不審者対応訓練 検証訓練（年1回）	消火訓練 不審者対応訓練	消火訓練 不審者対応訓練	消火訓練 不審者対応訓練	消火訓練 不審者対応訓練 引き渡し訓練	消火訓練 不審者対応訓練	消火訓練 不審者対応訓練	消火訓練 不審者対応訓練	消火訓練 不審者対応訓練 通報訓練（年1回）	消火訓練 不審者対応訓練		